

ウランバートル宣言

ASEMの次の10年に向けて（仮訳）

2016年7月15-16日，モンゴル・ウランバートル

我々，ASEM参加国の首脳，欧州理事会議長，欧州委員会委員長及びASEAN事務総長は，「ASEM20年：連結性を通じた未来のためのパートナーシップ」のテーマのもと，ASEM20周年記念を祝うとともに，次の10年に向けたASEMの道筋を描くことを目指して，2016年7月15日及び16日，第11回ASEM首脳会合のためにウランバートルに集結した。

我々は，この20年間でASEMの参加国数が26か国から53か国に拡大したこと，また，アジア・欧州間の対話及び協力のための重要かつ独自のプラットフォームとしてその活力と意義を証明してきたことに勇気づけられている。ASEMは，これまで同様，持続的な平和，安全，安定，経済回復や，グローバルな及び地域的な課題への対応における貢献を通じて，21世紀のグローバル環境を形づくる重要な要素であり続ける。

我々は，これまでASEMが以下の点において貢献したことを認識する；

- アジア・欧州間の一層の理解促進
- 政治的対話の拡大，経済協力の促進及び社会・文化的交流の拡大
- アジア・欧州間の相互連結の深化，平和と発展のための結びつきと互恵的かつ多層的な協力の形成及び強化
- アジア欧州財団（ASEF）等を通じての，より広範な人的つながりのための機会の創出
- 両地域が直面する課題や地域間及びグローバルな課題への対応
- 効果的な多国間主義の促進及び他の多国間プロセスの強化

我々は，これまでの経験を踏まえ，一層の連結性及びアジア・欧州間のより焦点が明確な協力を促進し，ASEMプロセスを開放的かつ漸進的な形で進展させることにコミットする。

我々は、ASEMプロセスが、コンセンサスの精神の下、平等なパートナーシップ、相互の尊重及び相互利益に基づいて促進されるべきであることを再確認した。

我々は、ASEMの重要性を強調し、その認知度を向上させるために、ASEMの日（アジアが欧州に、欧州がアジアに出会う日）を制定することを決定するとともに、毎年3月1日又は3月第1週のいずれか適当な日をASEMの日として祝うよう提言した。

ASEMを成功裡に次の10年に導くために、我々は以下をコミットする。

パートナーシップの強化

アジア欧州協力枠組（AECF）2000及びその他のASEM関連の文書に記載されているとおり、非公式な政治的対話及び経済、社会・文化的分野における協力イニシアティブは、我々のパートナーシップの基礎であり続ける。地政学的変化が、世界に一層の不確実性及び不安定性をもたらすことを踏まえ、ASEMは、効果的な多国間主義及びルールに基づいた国際秩序を維持するための触媒としてその役割を強化する。平和と安定、経済的繁栄、持続可能な開発及び生活の質の向上を求める参加国の人々の願望に応えるために、ASEMはパートナーシップの3本柱全てをバランスの取れた形で強化する。また、ASEMは、アジア・欧州間の多面的かつ人間を中心とするパートナーシップを更に強化すべく努力する。

具体的な利益のための協力に焦点を当てる

アジア及び欧州の国民に裨益し、非公式な対話から具体的な成果をもたらすものへと進化したイニシアティブを継続させるため、ASEMは、共通の利益を有する分野に焦点を当てる。これらの分野には、とりわけ、テロ及び暴力的過激主義への対応、海洋の安全、海賊対策、及び人身売買・薬物取引、サイバー安全・犯罪、ICT技術の安全とその使用時における安全、国連憲章の目的と原則の擁護、法の支配と国際法の執行、人権、腐敗対策、移民、持続可能な開発のための2030アジェンダ、気候変動、環境、災害リスクの軽減・防災、

食料、水及びエネルギー安全保障、地上・海洋資源や違法・無報告・無規制の漁業を含む問題、教育、貧困撲滅、ブルー・エコノミー、貿易及び投資の自由化及び円滑化、科学、技術とイノベーション、運輸、中小企業協力、様々な分野における能力構築、雇用、社会的保護、女性のエンパワーメント、青少年と障害者が含まれる。また、ASEMは、適切な場合には、付加価値を創造し、また、両地域に相互利益をもたらし得る分野を重視する。この点で、我々は、ASEMの活動におけるあらゆる協力イニシアティブ及びメカニズムは、人々、特に若者及び企業の関与を促進すべきであるとの認識を共有する。それぞれの具体的な協力分野におけるイニシアティブ及びプロジェクト、また様々な分野間の調整は、ASEM域内の開発格差を縮小する上で不可欠であるとともに、域内の開発途上国の能力構築の機会を提供する。

あらゆる側面における連結性の強化

様々な分野における連結性の向上は、重要かつ共有された目標である。連結性は、あらゆるASEM関連の協力枠組みにおいて主流化される。2つの地域間における相互依存の高まりを受け、これら地域におけるASEMの活動のいかなる分野においても、アジアと欧州を切り離して扱うことはできない。拡大したASEMは、より相互依存的で協力的な性質を強めてきており、平和、安定、経済的繁栄及び持続可能で包括的な開発のためのアジア・欧州間の一層の結びつきを生み出すための理想的なプラットフォームを提供している。これらは、政治対話、経済・金融協力、社会文化及び人的結びつきといったASEMの3本柱にまたがる我々のパートナーシップのあらゆる側面を包含する。

非公式性、ネットワーキング及び柔軟性の促進

2006年の「ASEMの将来に関するヘルシンキ宣言」を想起し、我々は、お互いの歴史、文化、伝統及び願望に対するより深い理解と評価を促すために、ASEMにおける非公式性、ネットワーキング及び柔軟性を促進する重要性を改めて強調する。

我々は、ASEMプロセスにおいて、ステークホルダーが担う役割を評価する。また、アジア欧州ユース・フォーラムを統合し、新たなASEMのステークホルダーフォーラムとしてアジア欧州労働フォーラムに留意することを通じ

て、ステークホルダーのASEMの活動への関与を増大させることの必要性に加え、ステークホルダーとの協力・調整やステークホルダー間の協力・調整を改善する必要性を強調する。

これからの10年に向けて

我々、ASEM参加国の首脳、欧州理事会議長、欧州委員会委員長及びASEAN事務総長は、ASEM20周年の節目に、ASEMを活性化するため、人々のために包摂的で持続可能な輝かしい未来を築くために、一層の連結性及び互恵的なパートナーシップ・協力を促進するため、及び、現在及び将来の世代のために平和的な生活及び共有された繁栄を確保するために協働するという我々の政治的意思及び強い決意を新たにする。